


令和5年度 宝塚市社会福祉法人連絡協議会 事業報告

1. 総会・運営委員会・テーマ部会

項目	日時	内容	参加者
総会	書面審議	議案第1号 令和4年度事業報告(案)について 議案第2号 令和4年度決算(案)及び監査報告について 議案第3号 令和5年度事業計画(案)について 議案第4号 令和5年度予算(案)について 報告事項(1) 宝塚市社会福祉協議会 理事の推薦について	全 27 法人から 回答 (※26 法人回答と 報告後、1 法人から 回答)
運営委員会	令和5年 4月6日 5月10日 6月9日 7月4日 8月9日 9月13日 10月12日 11月27日 12月19日 令和6年 1月16日 2月20日 3月18日	月1回実施(代表・副代表・部会長・事務局) 【令和5年度の主な協議事項】 ・各法人の情報交換 ・宝塚市地域福祉研修の実施について ・施設長研修会の企画検討 ・テーマ型部会の運営支援 ・制度狭間(食の支援、住まいの支援、社会参加の支援など)、生活困窮者自立支援制度と市内の現状に関する意見交換・協議(※宝塚市せいかつ支援課、せいかつ応援センターなどとの連携)	運営委員 4名 部会長 2名 事務局
地域貢献活動部会	令和5年 4月12日 5月11日 6月16日 7月6日 8月17日 9月13日 10月19日 11月30日 12月22日 令和6年 2月26日 3月25日	・4月～7月は、社会福祉法人連絡協議会の広報活動の一環とした、宝塚サマーフェスタへのブース出展に向けた準備を行った。 ・8月6日(フェスタ当日)は集客を目的とした氷柱を設置したことで、多くの子供が集まり、その親世代へ社会福祉法人連絡協議会の取り組み及び広報活動を行うことができた。 ・8月～11月は、令和5年度に続き、社会福祉協議会の地域福祉研修担当職員と合同で地域福祉研修の企画運営に参画。 ・10月10日、12月14日は集合研修、その間に、地域活動への実習体験を研修プログラムに取り入れたことで、参加者が地域活動をイメージできる内容となった。 ・2月3月は、今年度の振り返りを含め、次年度の展望について協議を行った。	運営委員 1名 部会員 14名
防災の取り組み部会	令和5年 8月21日 11月20日 令和6年 2月19日	・8月は、法人の施設において、災害時を想定した問題点を抽出し、検討することとし、防災チェックシートを作成することとした。 ・11月は、防災チェックシートを用いて、各法人の拠点エリアのハザードマップや避難経路、備蓄品、電気系統等ライフラインの被災要因など災害を想定した情報交換をおこなった。 ・2月は、災害発生時のBCP(業務継続計画)について、各法人の作成状況の確認、情報交換をおこなうことで防災の意識を高め、災害時の対応について考える機会となった。	部会員 14名

2. 研修・その他

項目	内容	参加者
研修会	<p>■宝塚市地域福祉研修 (※宝塚市・宝塚市社会福祉協議会との共催) 今年度も、企画段階から地域貢献部会が参画し、法人連絡協議会・行政・社協が協働して実施した。</p> <p>【企画会議】事前打ち合わせ、事後振り返りなど</p> <p>【研修（1日目）】 10月10日 14:00～17:00 場所：宝塚市総合福祉センター セッション1「今日の地域福祉の全体像とその政策 ー地域共生社会づくりと宝塚の地域福祉ー」 講師：関西学院大学 教授 藤井博志氏 セッション2「地域ごとのまちづくり計画について」 説明：宝塚市末成小学校地域まちづくり協議会 会長 加藤 富三氏 セッション3「多分野で交流しよう！」</p> <p>【研修（2日目）】 期間：10月末～12月初旬のうちの1日 場所：市内の地域活動実施場所 演習「住民同士の助け合い活動に参加しよう！」</p> <p>【研修（3日目）】 12月7日 14:00～17:00 場所：宝塚市立中央公民館 セッション1「みんなで孤立をなくせ！ 超高齢社会体験ゲーム～コミュニティコーピング体験会」 セッション2「地域と専門職の協働を考える ～実践報告から学ぶ～」 発表者：宝塚市末成小学校地域まちづくり協議会 会長 加藤 富三氏 社会福祉法人阪神福祉事業団 ななくさ育成園 八木 真理子 氏 セッション3「グループワーク ～明日からの一歩を考えよう！」</p>	<p>1日目 81名</p> <p>2日目 45名</p> <p>3日目 45名</p>
	<p>■施設長研修会 日時：2月9日 14:00～16:00 場所：宝塚市総合福祉センター 基調説明 地域における社会福祉法人の役割について 社会福祉法人連絡協議会の取り組みについて 説明：宝塚市社会福祉法人連絡協議会 副代表 安田 慶</p> <p>トークセッション「宝塚の現状から見た生活困窮、制度狭間の課題と実践 ～住まい支援から見えてくること～」 【ゲストスピーカー】 宝塚市役所 せいかつ支援課 せいかつ応援センター（受託：宝塚市社会福祉協議会） 【コーディネーター】 宝塚市社会福祉法人連絡協議会 副代表 安田 慶</p>	<p>23名</p>

項目	内 容	参加者
外部会議などの 参画	<p>■宝塚市セーフティネット会議（川本代表） 場所：宝塚市総合福祉センター 第1回：8月22日 地域と福祉と教育の連携 第2回：3月22日 8050問題について</p> <p>■宝塚市社会福祉協議会 地域福祉活動推進委員会（金川副代表） 場所：宝塚市総合福祉センター 第1回：10月17日 ・第7次地域福祉推進計画の進捗について ・ひきこもり支援の現状と今後の展開（案）について 第2回：2月27日 ・住まいの支援を通じた孤立解消に向けた取り組みについて</p> <p>■兵庫県社会福祉法人連絡協議会代表者等連絡会 第1回：8月7日（川本代表・事務局） 場所：兵庫県福祉センター（神戸市） ・ほっとかへんネットを取り巻く情勢動向について ・実践発表会「ほっとかへんネットを通じた人と地域のつながりづくり」 ※神戸市兵庫区・宝塚市・洲本市・稲美町より発表 ・各市町の法人連絡協議会との情報交換</p> <p>第2回：2月16日（事務局） 場所：神戸クリスタルタワー ・ほっとかへんネット調査からみえた到達点と今後の活動について ・兵庫県におけるDWA T活動の進め方と被災地支援の現状 ・各ほっとかへんネットの次年度事業の展開について意見交換</p>	
その他	<p>■地域団体への貸出備品一覧について ・各法人が地域団体等に貸出できる備品についてリストを更新した。周知用チラシを作成し、地域団体などへ配布を行った。</p> <p>■ホームページについて ・事務局である宝塚市社会福祉協議会のホームページ内に法人連絡協議会のページがあり、適宜更新を行った。 現在は、加入法人一覧、備品の貸出、事業報告・計画などを掲載している。 (http://takarazukashakyo.life.coocan.jp/soudan/renrakukyougikai)</p>	

令和5年度 宝塚市社会福祉法人連絡協議会 決算書

(単位:円)

収入の部

項目	予算額	決算額	差異	摘要
会費	270,000	270,000	0	@10,000円×27法人
前年度繰越金	558,326	558,326	0	
利息	0	4	4	預金利息
計	828,326	828,330	4	

支出の部

項目	予算額	決算額	差異	摘要
テーマ部会費	200,000	212,640	-12,640	ブース出展費、氷柱、ワークショップ等
広報啓発費	150,000	5,049	144,951	チラシ印刷代
消耗品費	5,000	258	4,742	事務消耗品
通信費	10,000	11,804	-1,804	資料等郵送代
諸謝金	50,000	0	50,000	
諸会費	3,000	3,000	0	宝塚市社会福祉協議会組織構成会費
手数料	2,000	2,640	-640	振込手数料
小計	420,000	235,391		
予備費	408,326	0		
合計	828,326	235,391		

収入合計	828,330
支出合計	235,391
次年度繰越	592,939